

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市産業文化複合施設（あきる野ルピア）
	所在地	東京都あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	教育部生涯学習スポーツ課生涯学習係
指定管理者	名称	株式会社コンベンションリンクージ
	所在地	東京都あきる野市一丁目8番地
	業務内容	①あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 ②あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 ③あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 ④あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 ⑤生涯学習事業等の実施に関すること。 ⑥その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
ホームページURL		<a href="http://akiruno-rupia.jp/">http://akiruno-rupia.jp/</a>
指定期間		平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

### 2 施設の利用状況等について

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開館等日数（日）	357	358			
利用者（来客者）数（人）	55,707	64,472			
前年度比（人）		8,765			
前年度比（%）		115.7			
利用料金（売上）合計（千円）	14,436	14,667			
前年度比（千円）		231			
前年度比（%）		101.6			

### 3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	指定管理料	9,455	9,455			
	利用料金	12,536	12,749			
	NHK学園他収入	3,668	3,654			
	計	25,659	25,858			
支 出	人件費	9,232	10,865			
	運営費	9,969	8,013			
	施設維持管理費	3,614	3,585			
	自主事業関係経費	23	18			
	その他の支出	-	-			
計	22,839	22,482				
収支（収入－支出）		2,820	3,376			

利用料金及び使用料収入については平成27年度内の施設使用について計上している。

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・随時、施設利用者に対してアンケートを実施しました。その他、9月27日（日）に行われた「第4回ルピアJ u k uフェスタ」と1月16日（土）に開催した「第1回あきる野ルピアアンサンブルコンサート」についても満足度アンケートを行いました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・知的障害特別支援学校の関係団体様より、当団体がルピアホールの附属設備とその他の部屋の使用料が免除に該当するか問い合わせがありました。教育委員会との協議の結果、東京都主催の催事に属するものなので免除団体に該当するとご判断をいただき、先方にお伝えしました。 ・ルピアホール利用者から準備区分時間内にリハーサルを行った場合、準備区分に該当するかお問い合わせがありました。教育委員会と協議を図り、リハーサルは準備に該当せず、本番利用と同等とすることを確認し、先方にご理解いただきました。 ・ルピアの催し物について、複数日にわたり予約を入れている団体と内容を教えて欲しいとの問い合わせがありました。主催者に会場の利用の確定状況を管理者側で確認をとることはできるが、団体の情報を教えることはできないことを伝えました。このような事案があったため、申請時に教えても良い団体や催し物なのか主催者に確認し、窓口で回答できるように改善しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・あきる野ルピアを使用し、生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援（名称：ルピア塾）を継続して実施し、交換便による図書館等、公共施設へのチラシ配布を増やしました。その他、ルピア塾講師が出店し、ワンコインで講座を体験できるオープンスクール（名称：ルピアJ u k uフェスタ）を初めて休日に開催しました（来場者数238人、平日実施であった昨年より79人増）。また、市内の学校、一般団体がアンサンブル形式で演奏する「第1回あきる野ルピアアンサンブルコンサート」を開催し、発表の場と世代を超えた市民交流の場を創出しました。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・テナントと省エネの取組について具体的な節電対策を協議し、共同で実施しました。また、平成26年度に空調機器の交換修繕を実施したため、光熱費の削減がみられました。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
・会議室の空き時間の活用について、窓口にて積極にご案内することで、昨年より活用されてきていますが、さらに稼働率が上がるよう努力してまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
今年度も生涯学習講座を開催している利用者への広報活動支援を継続して実施し、施設利用の促進と利用者の利便性の向上を図っています。また、施設利用者や自主事業の来館者へアンケート調査を実施することにより、市民ニーズの把握に努めているとともに、来館者からの意見を接客方法等に反映させています。	
経費削減の取組	
昨年から引き続き、テナントと協力した積極的な経費削減に取り組んでいると評価できます。空調機の交換も経費削減への効果をあげています。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
施設の有効利用を図るため、テナントと協議の上、会議室の空き時間の活用など、施設全体の利用促進に向けた改善策を講じていますが、来年度も引き続き改善策を講じていく必要性があります	
総合評価	<b>A</b>

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。